

宮崎港

宮崎港の概要

県中部に位置する宮崎港は、“南九州の物流拠点”として本県の主要産業を支える港である。現在は、本県と神戸を結ぶフェリーが就航しているほか、関西方面へRORO船が就航している。

将来像

内貿ターミナル機能の強化とアジア経済圏で生きる時代の港湾へ転換
 ~地域の暮らしに寄与し、自立的発展に資する「みなと」~
 ~市民と世界に開かれた「みなと」~
 ~環境と調和し、自然と共生する「みなと」~

主な施策

- ◆ 大型化する船舶への対応
- ◆ 貨物集荷に向けた取組強化
- ◆ 内貿物流機能の拡充・強化

物流

産業

安心・安全

交流・環境

- ◆ 港湾利用者のための避難施設
- ◆ 港内の安全な航路・泊地の確保
- ◆ 災害発生時の緊急物資輸送網の確保

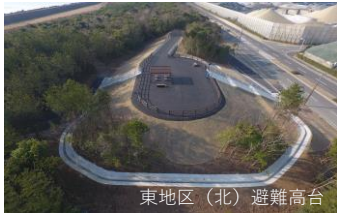
- ◆ 臨港交通体系の整備
- ◆ 漁船・プレジャーボートの適正な配置と施設整備
- ◆ 海上交通網の拡充

- ◆ 都市公園と一体となったアプローチ動線の強化
- ◆ 交流空間としての活用
- ◆ マリンレジャー

- ◆ 一ツ葉防砂堤整備 (H29~R8予定)
・航路への砂の流入を防止

- ◆ 南防波堤改良 (S57~R14予定)

- ◆ 津波避難施設(命の丘)の整備
・東地区(南) H28完成
・東地区(北) H29完成
・一ツ葉地区 R2完成



- ◆ 北航路、航路・泊地浚渫 (R3)
・新造船就航に向けた安全な航路・泊地の確保

種別	船名	吃水 (m)	長さ (m)	幅員 (m)	トン数	就航先
西航路	① 第1埠壁	-4.5	120	700	2	S44
	② 第2埠壁	-5.5	270	2,000	3	S46
	③ 第5埠壁	-7.5	260	5,000	2	S51
	⑦ 第7埠壁	-7.5	194	6,000GT	1	H1
	⑩ 第10埠壁	-9.0	198	10,000GT	1	H5
東航路	⑪ 第11埠壁	-9.0	300	50,000GT	1	H8
	⑥ 第6埠壁	-4.5	420	700	7	S53
	⑨ 第9埠壁	-5.5	400	2,000	4	H6
	⑫ 第12埠壁	-7.5	390	5,000	3	H9
	⑬ 第13埠壁	-9.0	210	10,000	1	H10
計	⑭ 第14埠壁	-9.0	160	10,000	1	
	⑮ 第15埠壁	-12.0	240	30,000	1	
	⑯ 第16埠壁	-9.0	320	10,000	2	

- ◆ 東地区防波堤1での防風柵整備 (H30完成)



- ◆ 東地区防波堤2での防風柵整備 (R4完成)

- ◆ カーフェリー大型化への対応
・サイドスロープ整備 (R3完成)



- ◆ 緑地連絡橋の整備 (R1~R6年度予定)
・緑地間周遊路の構築

凡例

- 物流
- 産業
- 安心・安全
- 交流・環境